

# 世界と日本におけるICDの動向



厚生労働省 政策統括官(統計・情報政策担当)付  
参事官(企画調整担当)付 国際分類情報管理室  
森 桂

# 人口動態

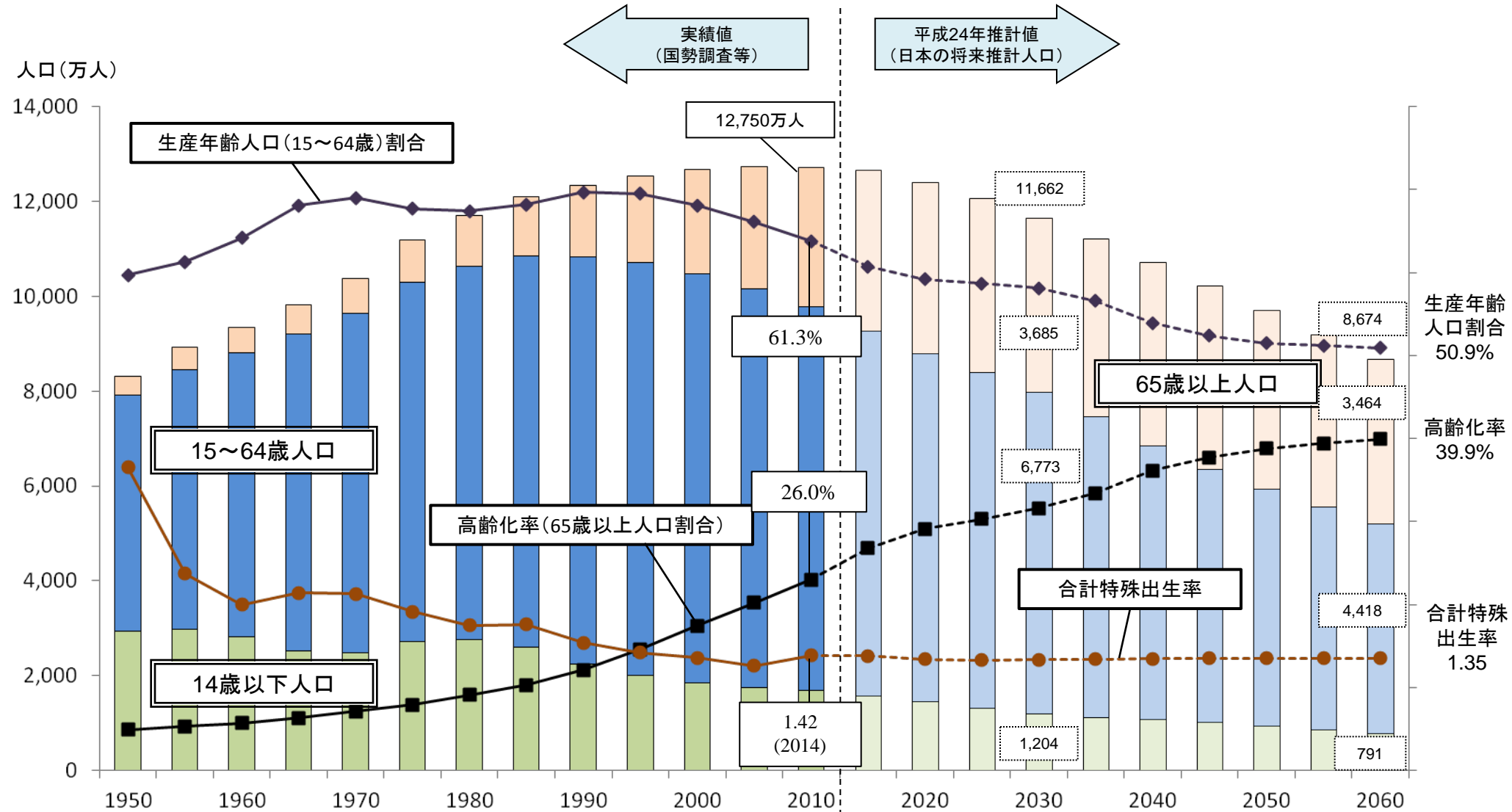
	平成28年	平成27年
出生	976,978	1,005,677
死亡	1,307,748	1,290,444

(人)

※平成28年(2016)人口動態統計(確定数)の概況

# 日本の人口の推移

○ 日本の人口は近年横ばいであり、人口減少局面を迎えている。2060年には総人口が9000万人を割り込み、高齢化率は40%近い水準になると推計されている。



(出所) 総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計):出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口), 厚生労働省「人口動態統計」

# 人口ピラミッドの変化(1990~2060年)

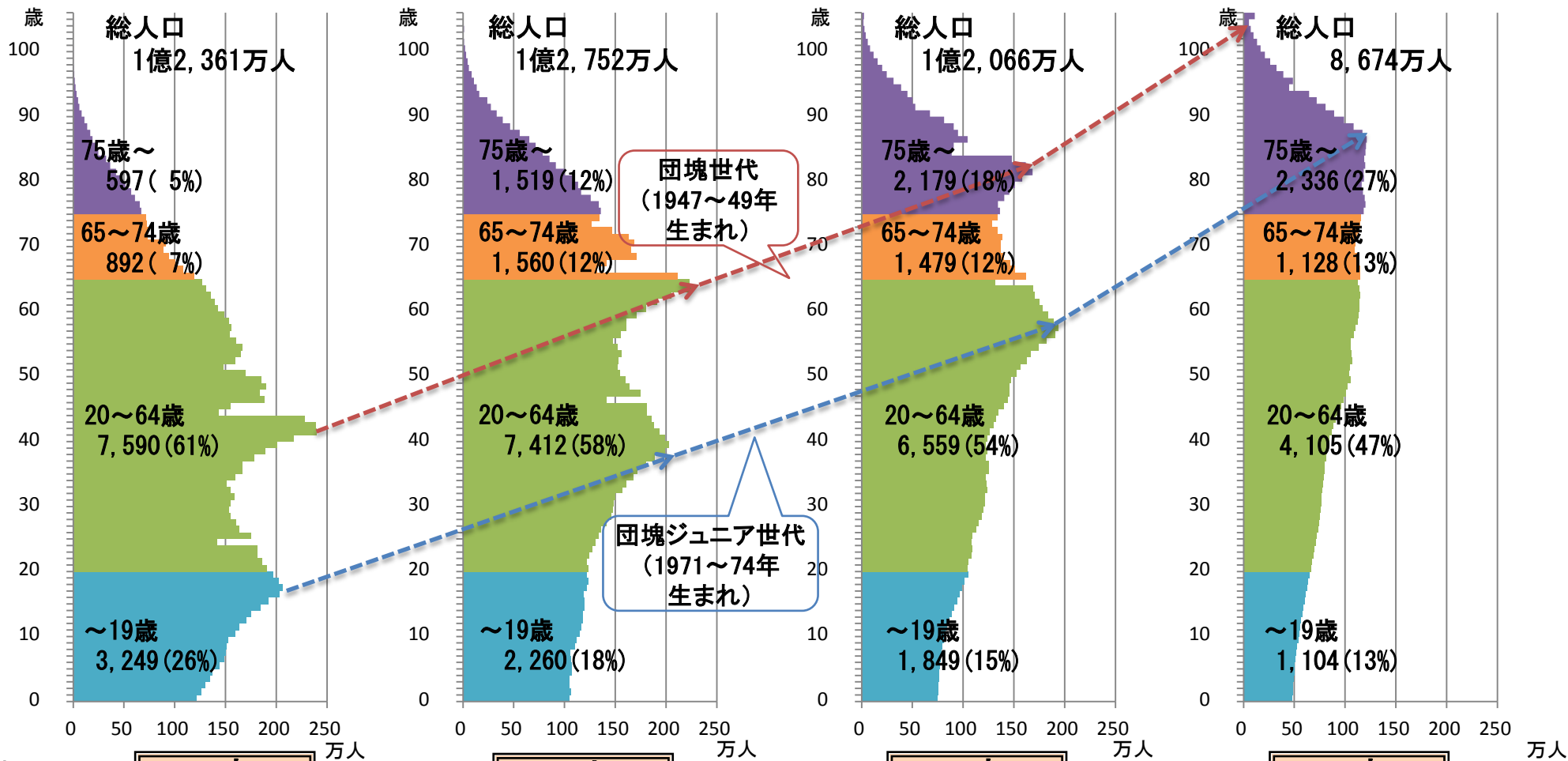
○ 日本の人口構造の変化を見ると、現在1人の高齢者を2.4人で支えている社会構造になっており、少子高齢化が一層進行する2060年には1人の高齢者を1.2人で支える社会構造になると想定

1990年(実績)

2012年

2025年

2060年



$$\frac{\text{65歳~人口}}{\text{20~64歳人口}} = \frac{1人}{5.1人}$$

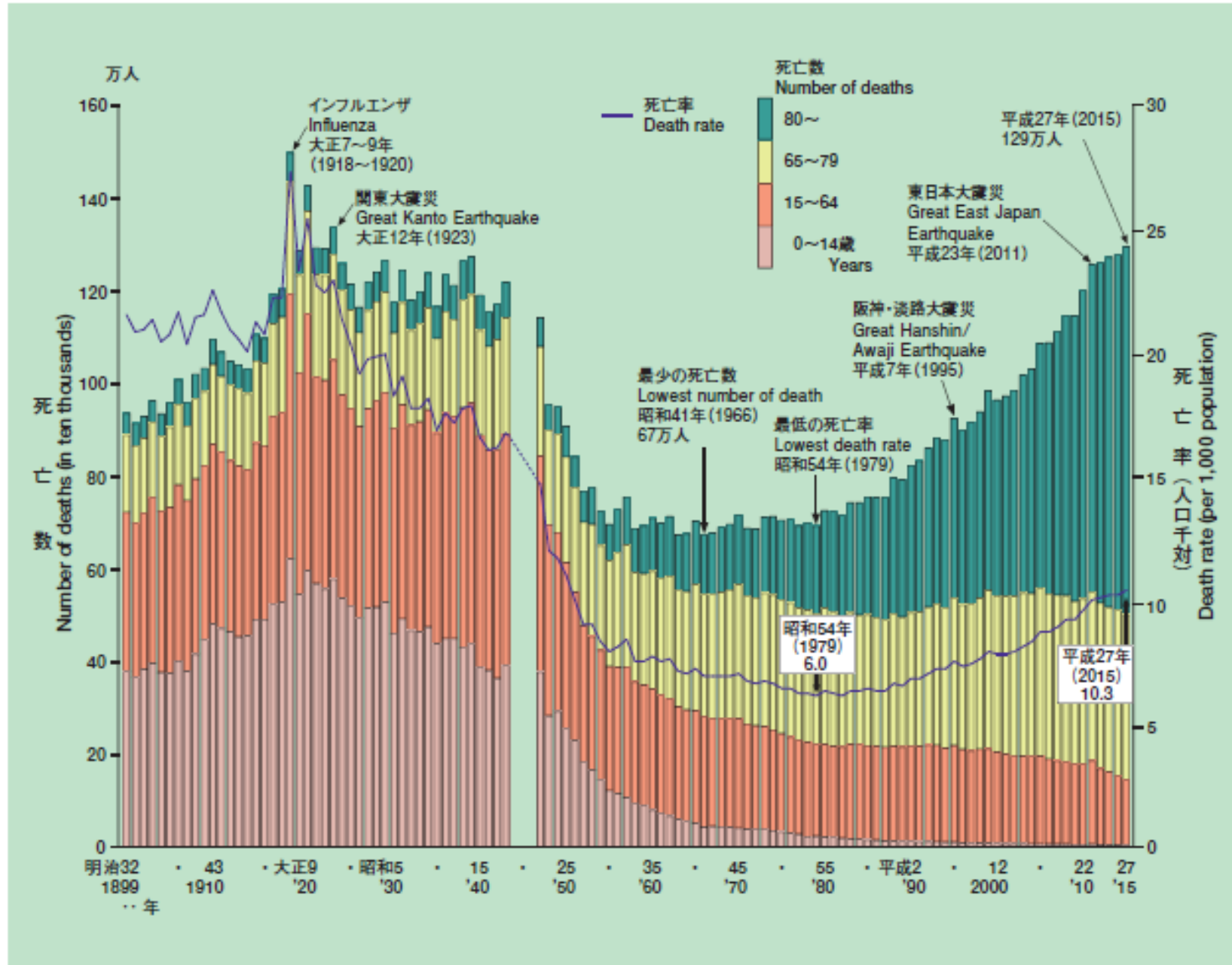
$$\frac{1人}{2.4人}$$

$$\frac{1人}{1.8人}$$

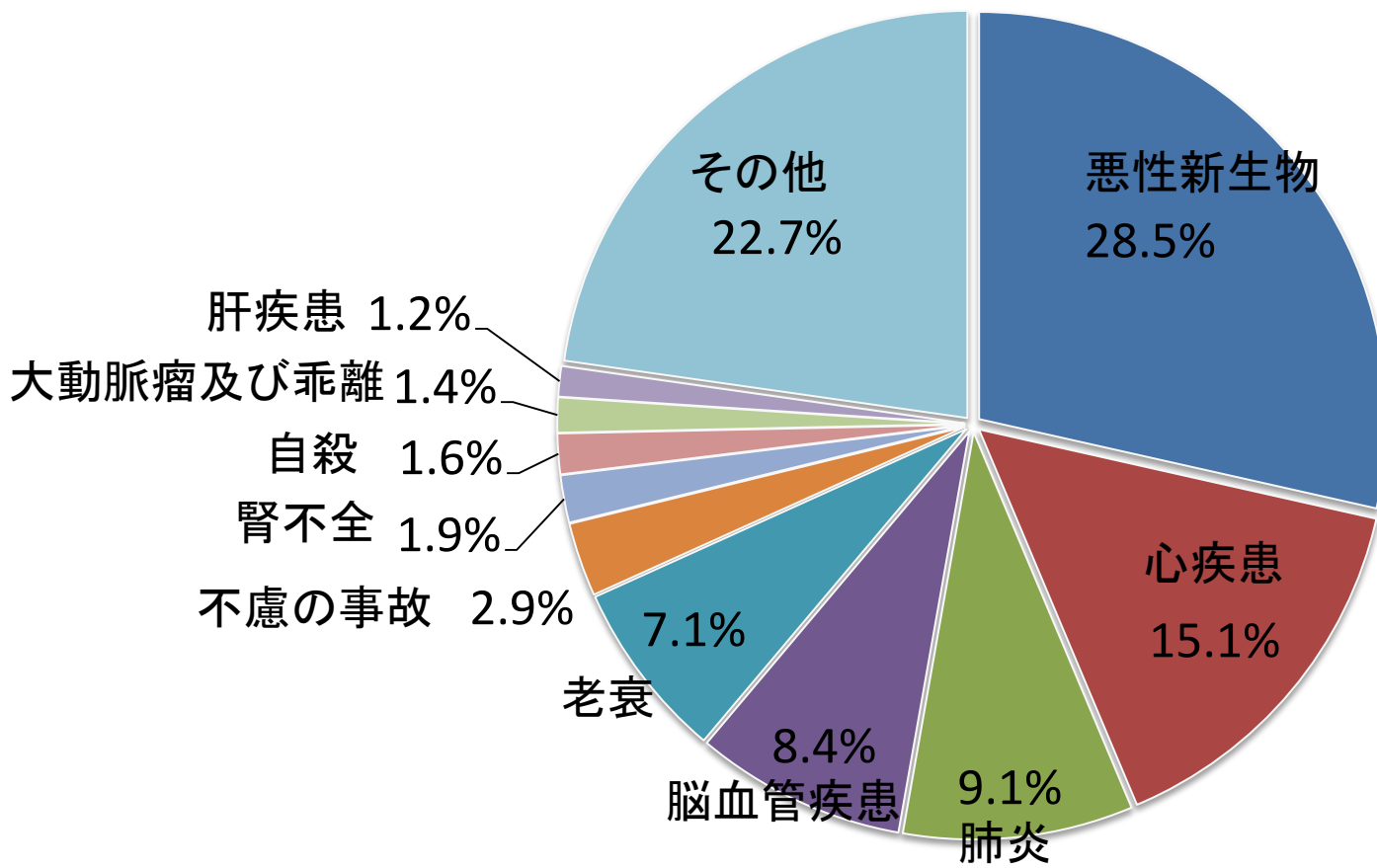
$$\frac{1人}{1.2人}$$

(出所) 総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計):出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口)

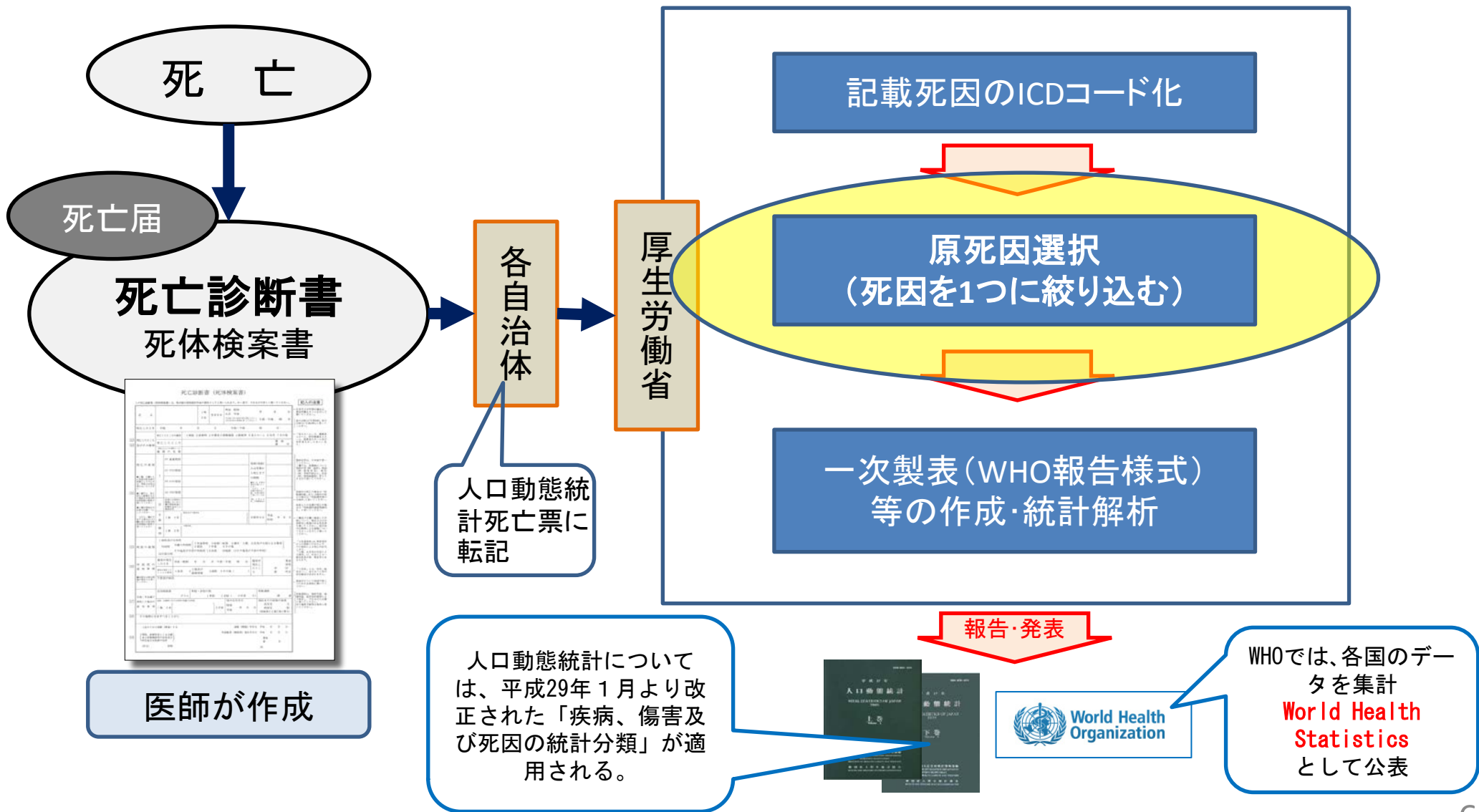
死亡数及び死亡率の年次推移—明治32～平成27年—  
Trends in deaths and death rates, 1899-2015



# 死因順位(平成28年)



# 人口動態統計 統計処理までの流れ



# 原死因と原死因選択

**死亡原因:**「死亡を引き起こしたか、その一因となったすべての疾病、病態または、損傷、およびこれらの損傷を引き起こした事故または暴力の状況」(1967年の第20回世界保健総会)と定義。

**原死因:**一次製表(WHO報告様式)のための死因は、原死因とすべきである(第6回修正国際会議)。

(a)直接死亡を引き起こした一連の事象の起因となった疾患もしくは損傷、

(b)致命傷を負わせた事故もしくは暴力の状況

と定義。



最も効果的な公衆衛生の目的は、その活動によって原因を防止することである。



# 死亡診断書の記載

## 死亡の原因欄は I 欄

- (ア)直接の死因
- (イ)アの原因
- (ウ)イの原因
- (エ)ウの原因

## II 欄

直接には死因に関係しないが、

I 欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等

死亡届	受理 平成 年 月 日 届 第 号	発送 平成 年 月 日 届 第 号	長印
	平成 年 月 日届出	届 第 号	
長 殿	特別調査	戸籍記載	記載調査
	調査部	計 部	比 部
	通 知		

(1) (よみかた)	氏 名	姓 _____ 名 _____	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
(2) 氏 名			
(3) 生 年 月 日	年 月 日	_____	<input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後
(4) 死亡したとき	平成 年 月 日	_____	時 分
(5) 死亡したところ	住 所	_____	番 地 番 号
(6) 住 所	(世帯登録をして)いるところ	_____	番 地 番 号
(7) 本 籍	本籍者の氏名	_____	番 地 番 号
(8) 死亡した人の夫または妻	<input type="checkbox"/> いる (調 査) <input type="checkbox"/> いない (口未絶 <input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別)		
(9) 死亡したときの世帯のおもな仕事と	<input type="checkbox"/> 農業だけまたは農業その他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 自由業・職工業・サービス業等個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 企業・個人経営等 (官公庁を除く) の雇用労働者世帯で勤め先の事業名称が本人から本人までの世帯 (日々または年毎の契約の雇用者を含む) <input type="checkbox"/> 4, 3に当てはまらない雇用労働者世帯及び会社団体の役員の家等 (日々または1年未満の契約の雇用者を含む) <input type="checkbox"/> 5, 1から4にあてはまらないその他の世帯をしている者の世帯 <input type="checkbox"/> 6. 世帯をしていない世帯		
(10) 死亡した人の職業・産業	職業 _____ 産業 _____		
(11) その他			
歴 住 所	_____	番 地 番 号	
出 木 籍	_____	番 地 番 号	
人 籍 名	_____	本籍者の氏名	
	印 _____	年 月 日 生	
事件簿番号		連絡先 _____	電話 ( ) _____
		自宅・勤務先 [ _____ ]	携帯 _____

記入の注意  
鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に申し出てください。

届出は、1通でさしつかえありません。

「筆記者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

内務のものはふくまれません。

□には、あてはまるものに防のようにするをつけてください。

死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査 (統計法に基づく推定統計表) にも用いられます。

届出人の印をご持参ください。

死亡診断書 (死体検案書)		記入の注意	
氏 名	1男 _____ 2女 _____	生年月日	平成 年 月 日
死亡したとき	平成 年 月 日	時刻	午前・午後 時 分
死亡したところ	1病院 2診療所 3労働者災害救護施設 4救護所 5老人ホーム 6自宅 7その他 _____	死亡したところ	番 地 番 号
死因の経過	1ア) 直接死因 2イ) アの原因 3ウ) イの原因 4エ) ウの原因 5他死原因 (死因不明)	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。 2「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。 3「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。 4「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。 5「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。
花 目 の 種 別	1病死及び自然死 2交通事故 3労務災害 4火災及び火傷による傷害 5その他 (死因不明)	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。
外 国 死 事 項	1外国死 2海外労働者 3海外労働者 4その他 ( )	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1「外国死」とは、海外労働者等による死亡を指します。
その他事項	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1「その他事項」とは、海外労働者等による死亡を指します。
その他事項	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1「その他事項」とは、海外労働者等による死亡を指します。
その他事項	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1「その他事項」とは、海外労働者等による死亡を指します。
その他事項	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1「その他事項」とは、海外労働者等による死亡を指します。
その他事項	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1「その他事項」とは、海外労働者等による死亡を指します。
その他事項	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1「その他事項」とは、海外労働者等による死亡を指します。
その他事項	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1「その他事項」とは、海外労働者等による死亡を指します。
その他事項	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1「その他事項」とは、海外労働者等による死亡を指します。
その他事項	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1死因 (死因不明) 2原因 (死因不明) 3原因 (死因不明) 4原因 (死因不明) 5原因 (死因不明)	1「その他事項」とは、海外労働者等による死亡を指します。

記入の注意  
1「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

2「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

3「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

4「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

5「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

6「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

7「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

8「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

9「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

10「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

11「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

12「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

13「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

14「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

15「死因不明」は、遺体検案書記入の際、警察捜査官から「死因不明」として届出してください。

# 原死因の決め方

## WHOが定めたルールによって決定 (ICD-10)

一般原則：I 欄の最下欄の疾患がその上の欄に記載されたすべての疾患を引き起こす可能性がある時に、その最下欄の疾患を原死因とする

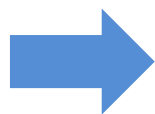
I 欄	(ア)	急性前壁心筋梗塞
	(イ)	冠状動脈硬化症
	(ウ)	
	(エ)	

I 欄	(ア)	肝不全
	(イ)	転移性肝癌
	(ウ)	S状結腸癌
	(エ)	

# 主な死因別死亡率

## Infectious Diseases

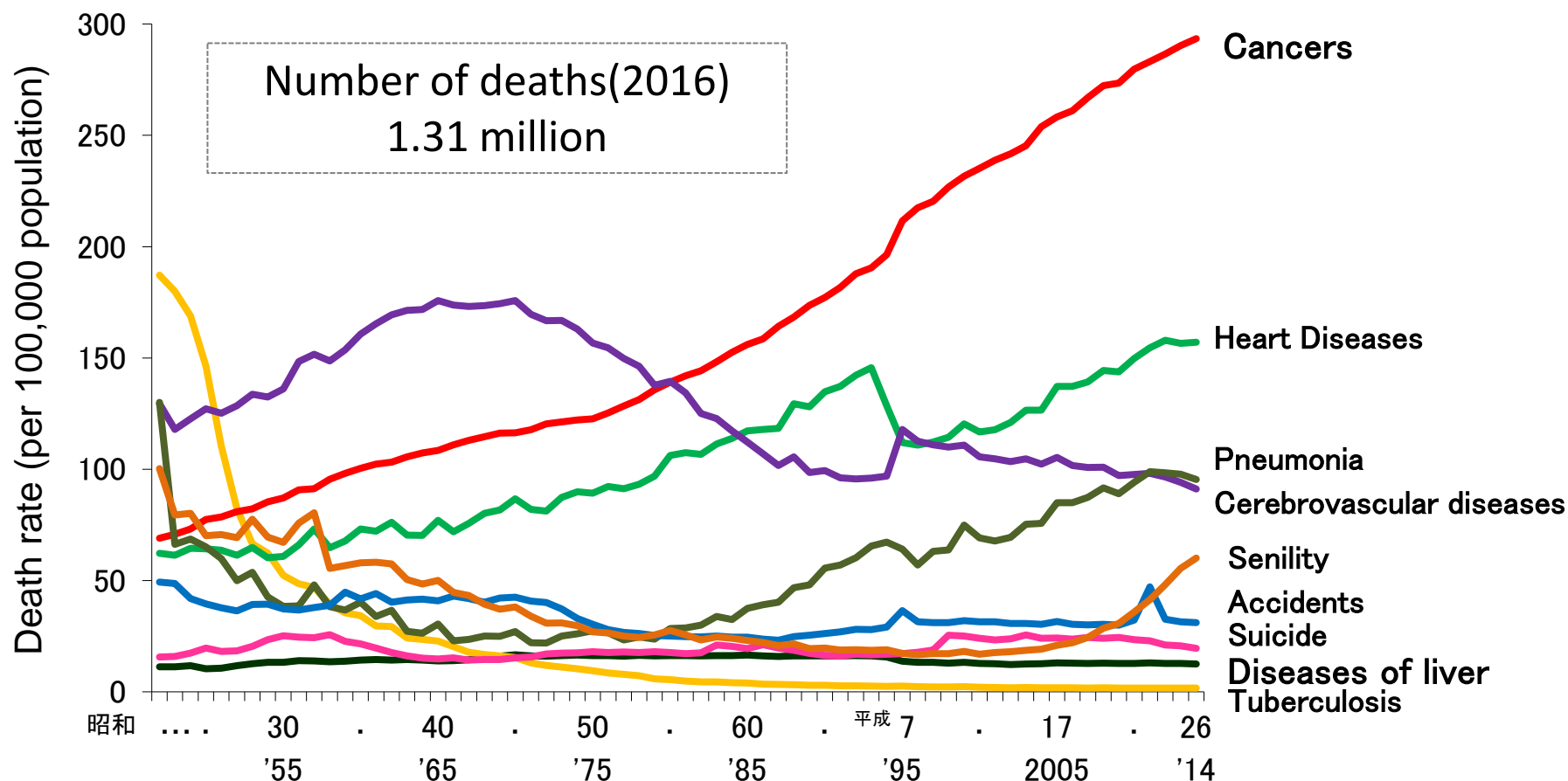
tuberculosis



## Non Communicable Diseases

Cancer

Heart diseases etc.



---

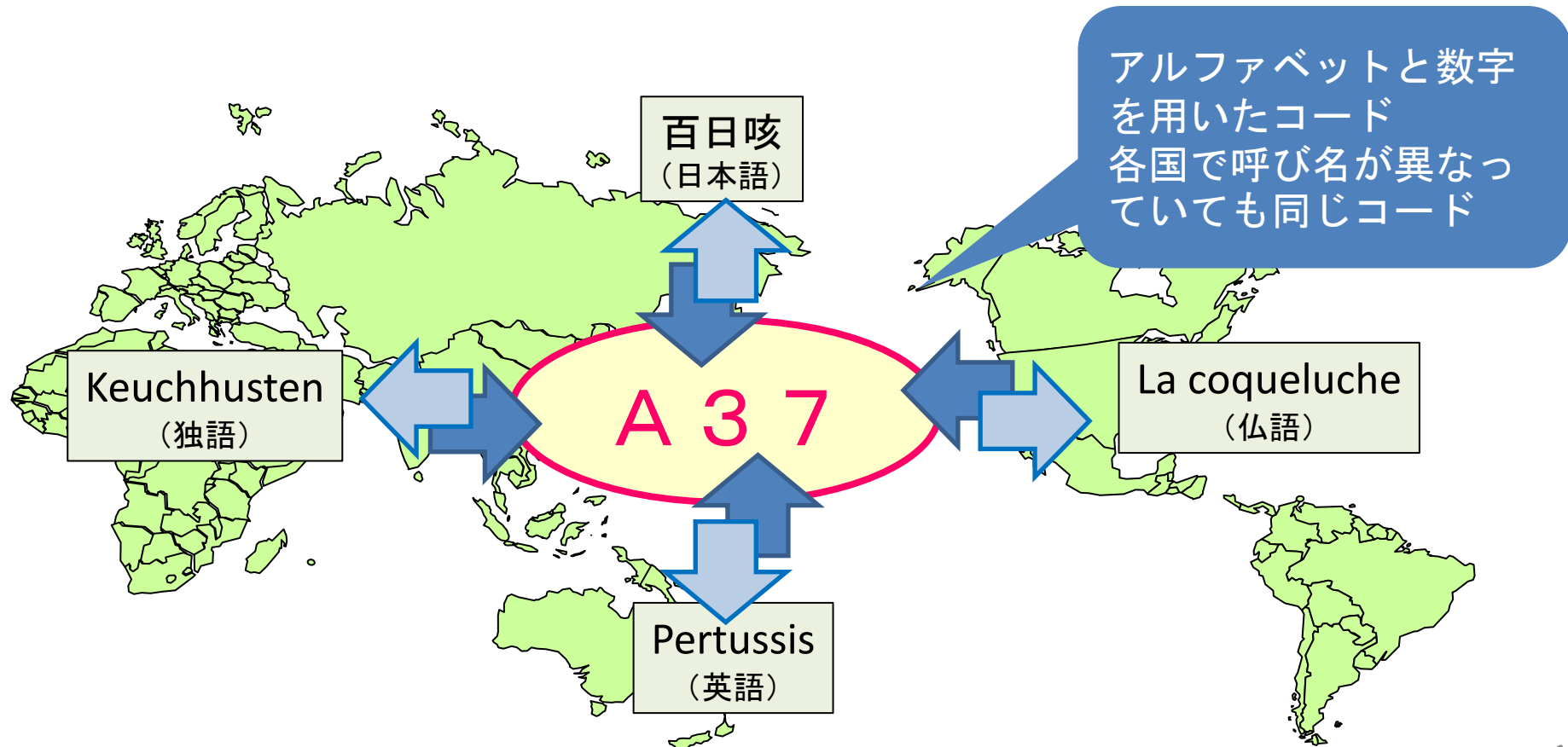
# I C D

International Statistical Classification of  
Diseases and Related Health Problems

# ICD（国際疾病分類）とは

- ❑ 異なる国や地域から
- ❑ 異なる時点で集計された死亡や疾病のデータを
- ❑ 体系的な記録、分析、解釈及び比較

**病名に対するコードが分かれば、世界各国の統計の国際比較が可能**



# ICD（国際疾病分類）とは

## 基本原則

- **網羅性**  
…全ての疾患を網羅している
- **排他性**  
…分類同士の重複がない

※ 分類であり、病名リストではない

# ICD（国際疾病分類）とは

## International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems

疾病及び関連保健問題の国際統計分類

- WHO（世界保健機関）の勧告により、国際的に統一した基準で定められた死因及び疾病の分類。現行のICD-10は約14,000項目より構成。
- 1900年（明治33年）に初めて国際会議で承認。日本も同年より導入。  
以降、WHOにおいて約10年ごとに改訂が行われ、ICD-10は1990年にWHO総会において承認され、日本では1995年より適用。
- 日本では、ICDに準拠して「疾病、傷害及び死因の統計分類」を統計法に基づく統計基準として定めており、
  - 公的統計（人口動態統計、患者調査、社会医療診療行為別調査等）
  - 診療報酬明細書、電子カルテ、DPC（診断群分類・包括評価）等における死因・疾病分類として広く利用。

# ICD（国際疾病分類）とは

## □ 世界保健機関憲章

第64条 各加盟国は、保健総会が決定した方法によって、統計的及び疫学的報告を提出しなければならない。

## □ 世界保健機関分類規則

第2条 死亡及び疾病作成する各加盟国は、世界保健総会がその都度採択する国際疾病、傷害及び死因統計分類の改正に基づいて、これを行うものとする。

第6条 各加盟国は、本機関より依頼された場合、憲章第64条の規定に基づき、この規則に従って作成された統計及び憲章第63条の規定により通報されない統計を提出しなければならない。



# WHO国際分類ファミリー（WHO-FIC）

## 関連分類

- ・ プライマリケアに対する国際分類（ICPC 2）
- ・ 外因に対する国際分類（ICECI）
- ・ 解剖・治療の見地から見た化学物質分類システム（ATC）／1日使用薬剤容量（DDD）
- ・ 障害者のためのテクニカルエイドの分類（IS09999）
- ・ 看護の分類（ICNP）

中心分類の一部を参照、あるいは構成の一部のみ中心分類と関連

## 中心分類

国際疾病分類  
(ICD)

国際生活機能分類  
(ICF)

医療行為分類  
(ICHI) ※開発中

## 派生分類

- ・ 国際疾病分類－腫瘍学第3版（ICD-O-3）
- ・ ICD-10精神および行動の障害に関する分類
- ・ 国際疾病分類－歯科学及び口腔科学への適用第3版（ICD-DA）
- ・ 国際疾病分類－神経疾患への適用第8版（ICD-10-NA）
- ・ 国際生活機能分類－児童版（ICF-CY）

中心分類の構成・項目を細分・追加

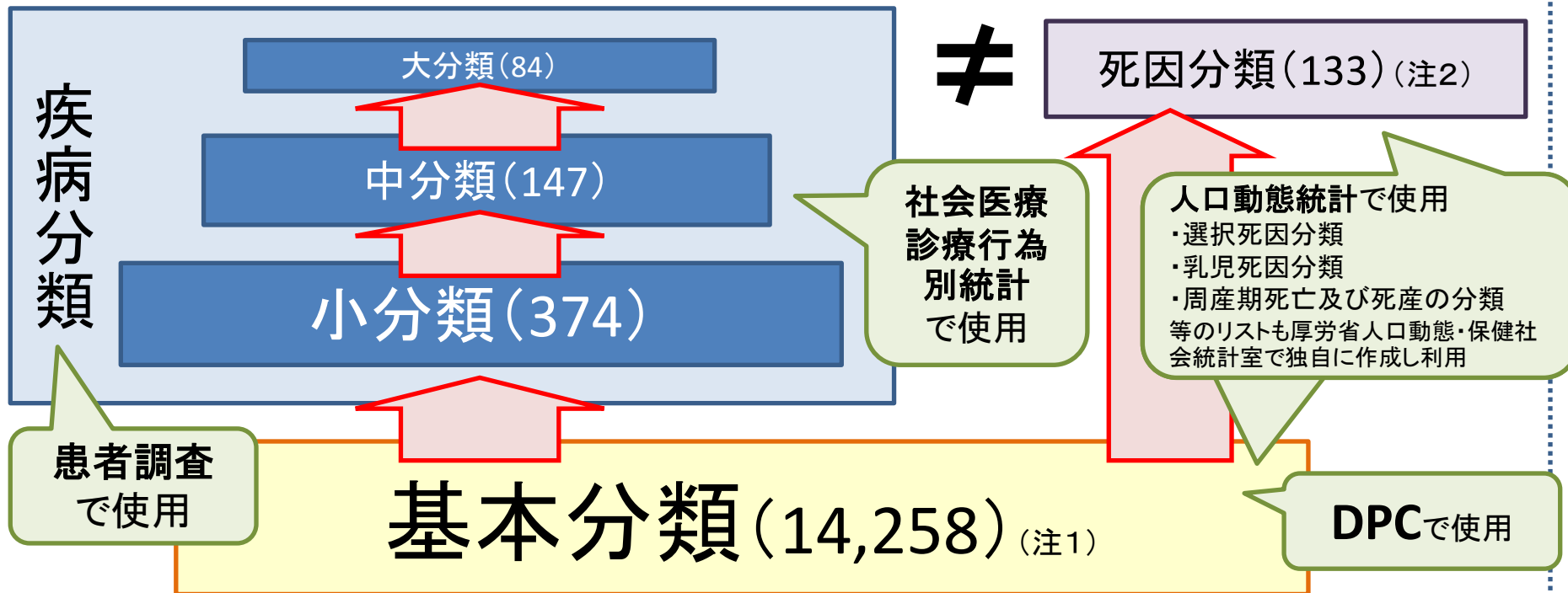
# ICD改訂の歴史

ICD版		分類項目数(細項目)	国内適応期間(告示改正)
第 1	1900年(明治33年)	179( -)	明治32年 ~ 明治41年
第 2	1909年(明治42年)	189( -)	明治42年 ~ 大正11年
第 3	1920年(大正 9年)	205( -)	大正12年 ~ 昭和 7年
第 4	1929年(昭和 4年)	200( -)	昭和 8年 ~ 昭和20年
第 5	1938年(昭和13年)	200( -)	昭和21年 ~ 昭和24年
第 6	1948年(昭和23年)	953( -)	昭和25年 ~ 昭和32年
第 7	1955年(昭和30年)	953( -)	昭和33年 ~ 昭和42年
第 8	1965年(昭和40年)	1,040( 3,489)	昭和43年 ~ 昭和53年
第 9	1975年(昭和50年)	1,179( 7,130)	昭和54年 ~ 平成 6年
第10	1990年(平成元年)	2,036(14,195)	平成 7年 ~ 平成17年 (1995年)
	2003年(平成17年)	2,045(14,258)	平成18年 ~ 平成27年 (2006年)
	2013年(平成25年)	2,053(14,609)	平成28年 ~ (2016年)
第11	2018年(平成30年)予定		

# 疾病、傷害及び死因統計分類

(International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems)

統計法  
(総務省)告示



(政策統括官通知)  
厚労省標準規格

対応

ICD10対応標準病名マスター  
(財)医療情報システム開発センター

Ver4.02 病名 : 25,403件  
修飾語表記 : 2,277件  
索引語 : 103,244件

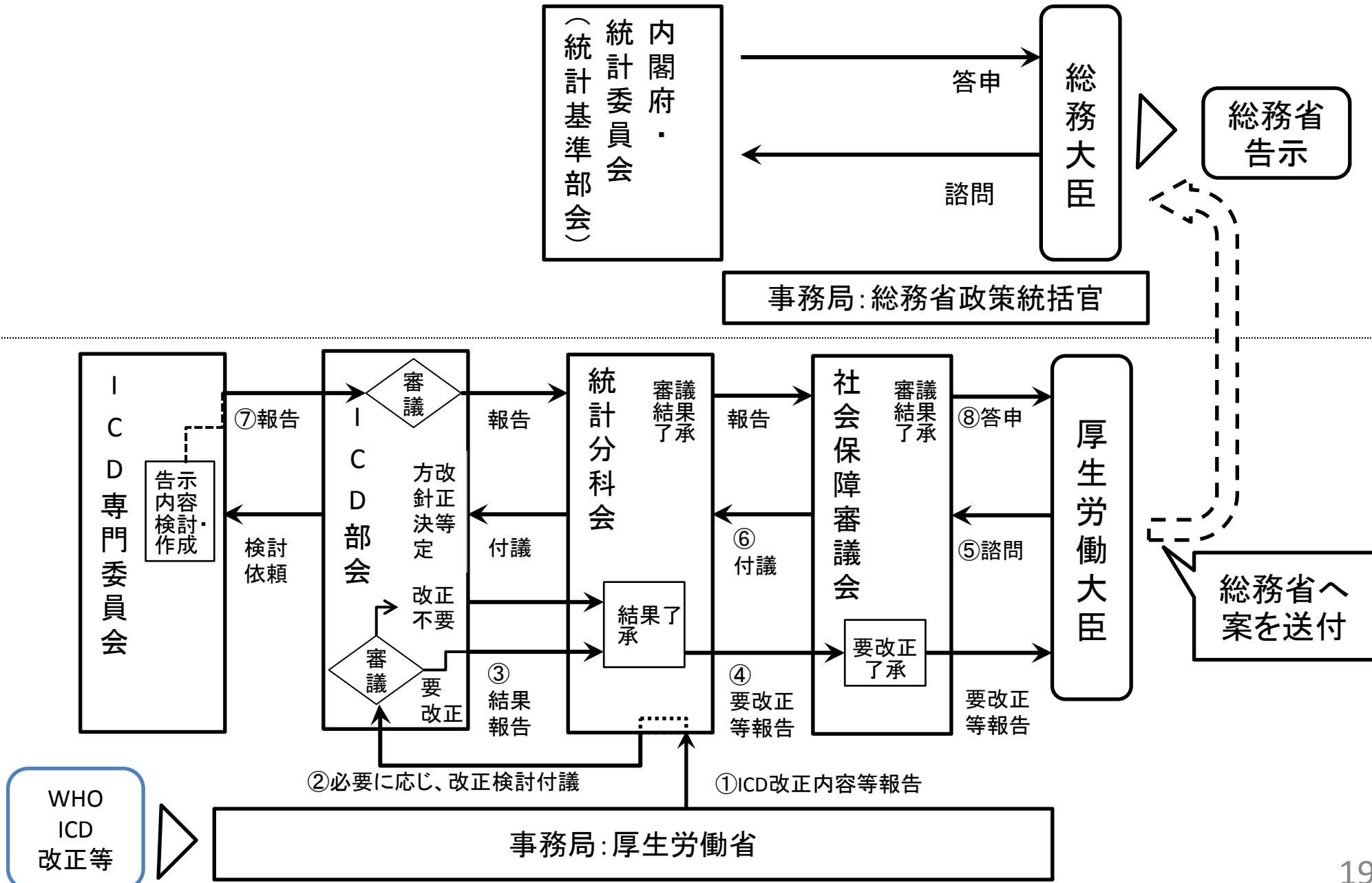
レプト・カルテで使用

項目数: 基本分類 > 疾病分類(小分類) > 疾病分類(中分類) > 死因分類 > 疾病分類(大分類)

注1: 人口動態統計では、「人口動態死因統計分類基本分類(死因基本分類)」との名称を使用している。

注2: 人口動態統計では、「死因簡単分類」の名称で利用している。

# ICD告示改正の流れ(国内)



# ICD改正・改訂スケジュールの概要

	2015(H27)年	2016(H28)年 (大改正年)		2017(H29)年	2018(H30)年	2019(H31)年 (大改正年)
ICD-10 (※1)	2月13日	1月				
	2013年版 総務省告示	2013年版国内適用				
			10月	1月		
			東京会議	ICD改正公表	小改正適用	大改正適用
				10月	1月	
				メキシコ会議	ICD改正公表	小・大改正適用
					10月	(1月)
ICD-11		5月	10月			
		世界保健総会 (WHA)へ報告	ICD-11改訂 会議		公表	
人口動態調査				2017年データから 2013年版を適用		
患者調査 (3年毎)				2017年データから 2013年版を適用		
標準病名マスター				2013年版リリース		
DPC制度 (※2)		10月			3月	4月～
		DPC調査事務局で2013年版にコーディングし直し、 各病院が確認				(システムを2013年版に切り替 え、)各病院で2013年版にコー ディング

※1: ICD-10に係る「会議」は、WHO-FICネットワーク年次会議

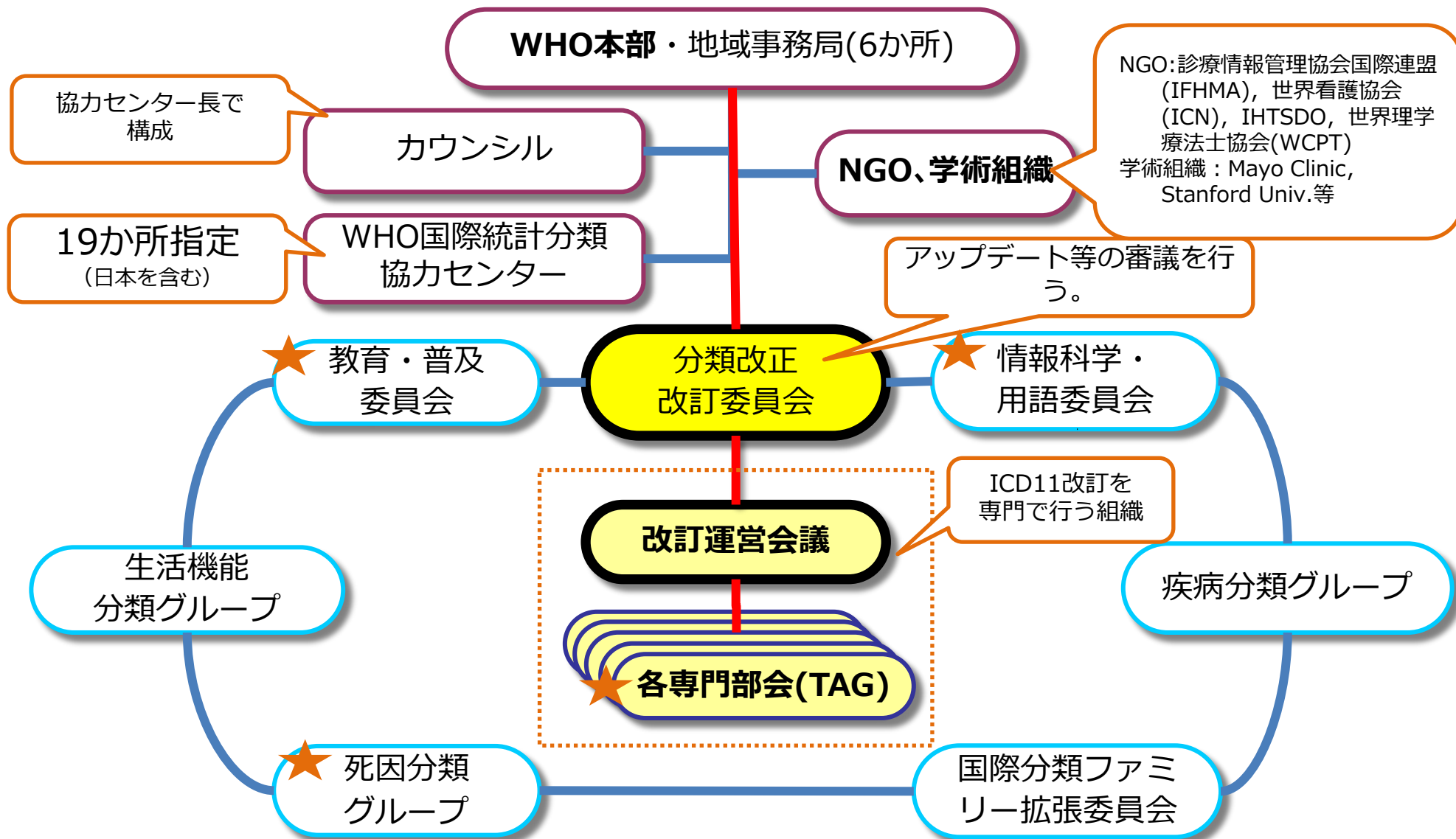
※2: DPC制度のスケジュール案は、第3回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会、資料「診調組D-1, 28.11.9」より

# WHO国際統計分類協力センター

オーストラリア	オーストラリア国立保健福祉研究所	韓国	韓国保健福祉情報開発院
中国	北京医科大学病院	クウェート	クウェート保健省統計医療記録局
フランス	国立衛生医学研究所 (INSERM)	メキシコ	メキシコ保健省
ドイツ	ドイツ医療資料情報機構	オランダ	国立公衆衛生環境研究所
インド	中央保健情報局 (CBHI)	ノルウェー	ノルウェー保健省
イタリア	イタリアFVG自治州健康局	ロシア	国立公衆衛生研究所
日本  (2011年より指定)	厚生労働省国際分類情報管理室 国立保健医療科学院 国立障害者リハビリテーションセンター 国立がん研究センター 国立国際医療研究センター 国立成育医療研究センター 日本診療情報管理学会 日本東洋医学サミット会議	南アフリカ	医学研究評議会
		タイ	タイ保健省保健標準コーディングセンター
		北米	米国国立保健統計センター
		英国	保健社会ケア情報センター (HSCIC)
		ベネズエラ	ベネズエラ疾病分類センター

2016年10月まで

# WHO国際統計分類ネットワークと改訂組織



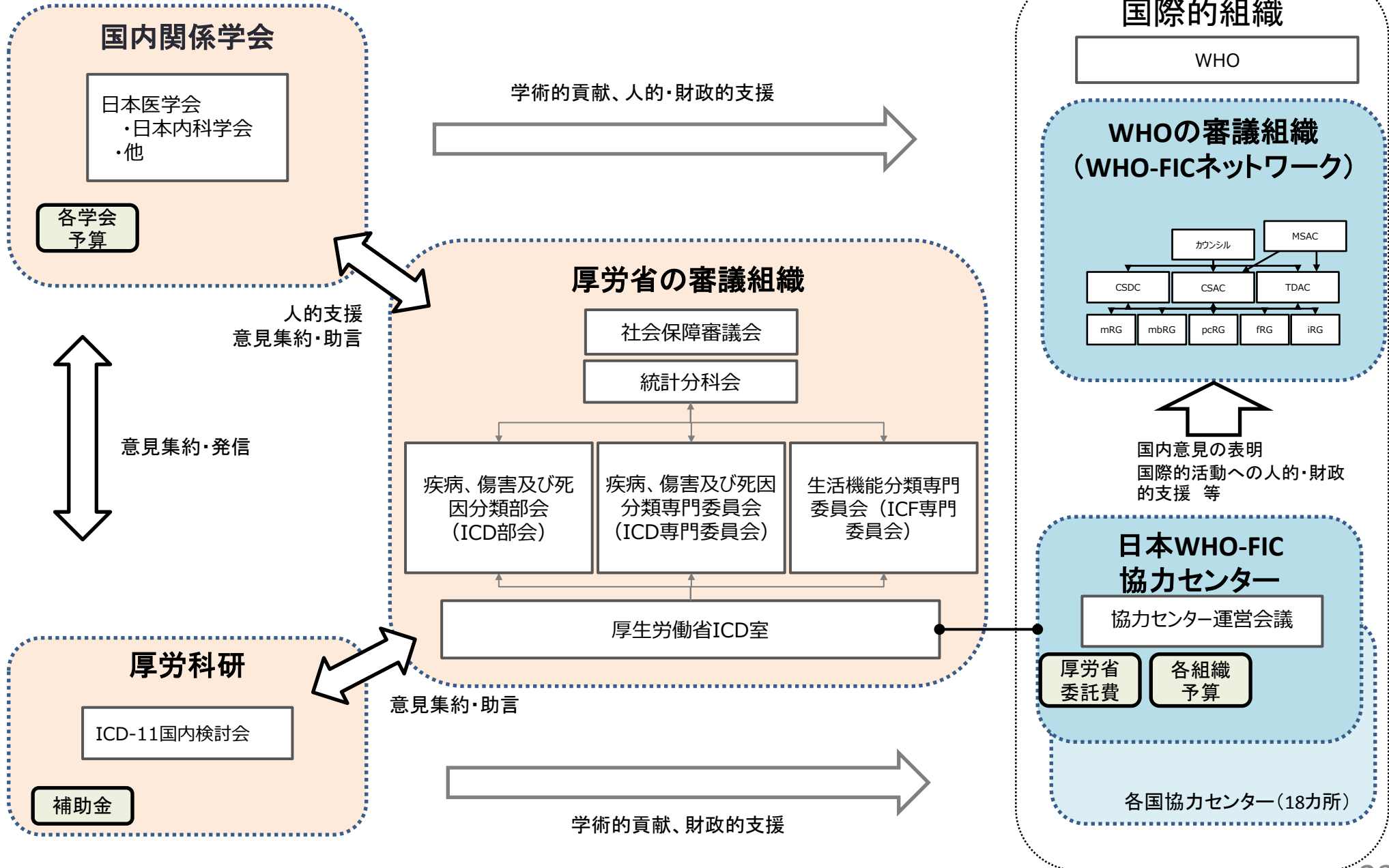
NGO: 診療情報管理協会国際連盟 (IFHMA), 世界看護協会 (ICN), IHTSDO, 世界理学療法士協会(WCPT)  
学術組織: Mayo Clinic, Stanford Univ.等

アップデート等の審議を行う。

ICD11改訂を専門で行う組織

★ 日本人が議長として選出

# 我が国におけるICD検討体制





---

ICD-11

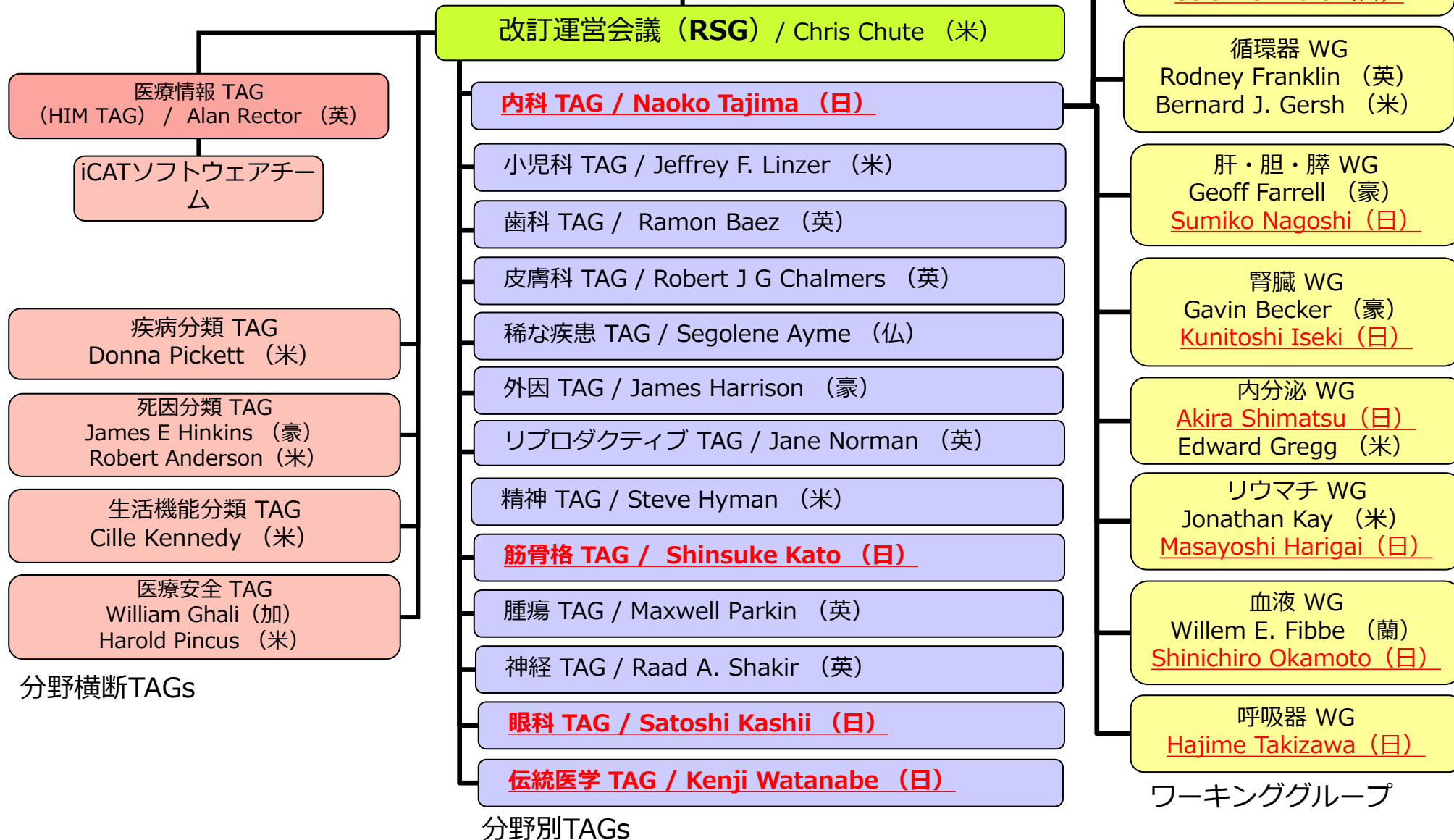
---

# ICD-11開発の目的

- 日進月歩の基礎医学・臨床医学・公衆衛生の分野における新しい知見を導入  
→ 医学の専門家を中心とした検討
- 複数の使用目的を想定  
→ 疾病・死亡統計、プライマリケア、臨床、研究 等
- 伝統医学を新たに導入 → まずは日中韓の伝統医学(漢方医学)
- 病名コードだけでなく、内容(疾患概念)を含めた情報体系へと進化  
…内容: 症状所見的／解剖学的／組織病理学的／遺伝学的etc.
- 電子環境での活用を前提としたシステム  
→ 目的とする視点により違った分類を導出、Coding tool 等の開発

# ICD-11改訂に向けた 検討組織

2016年10月まで

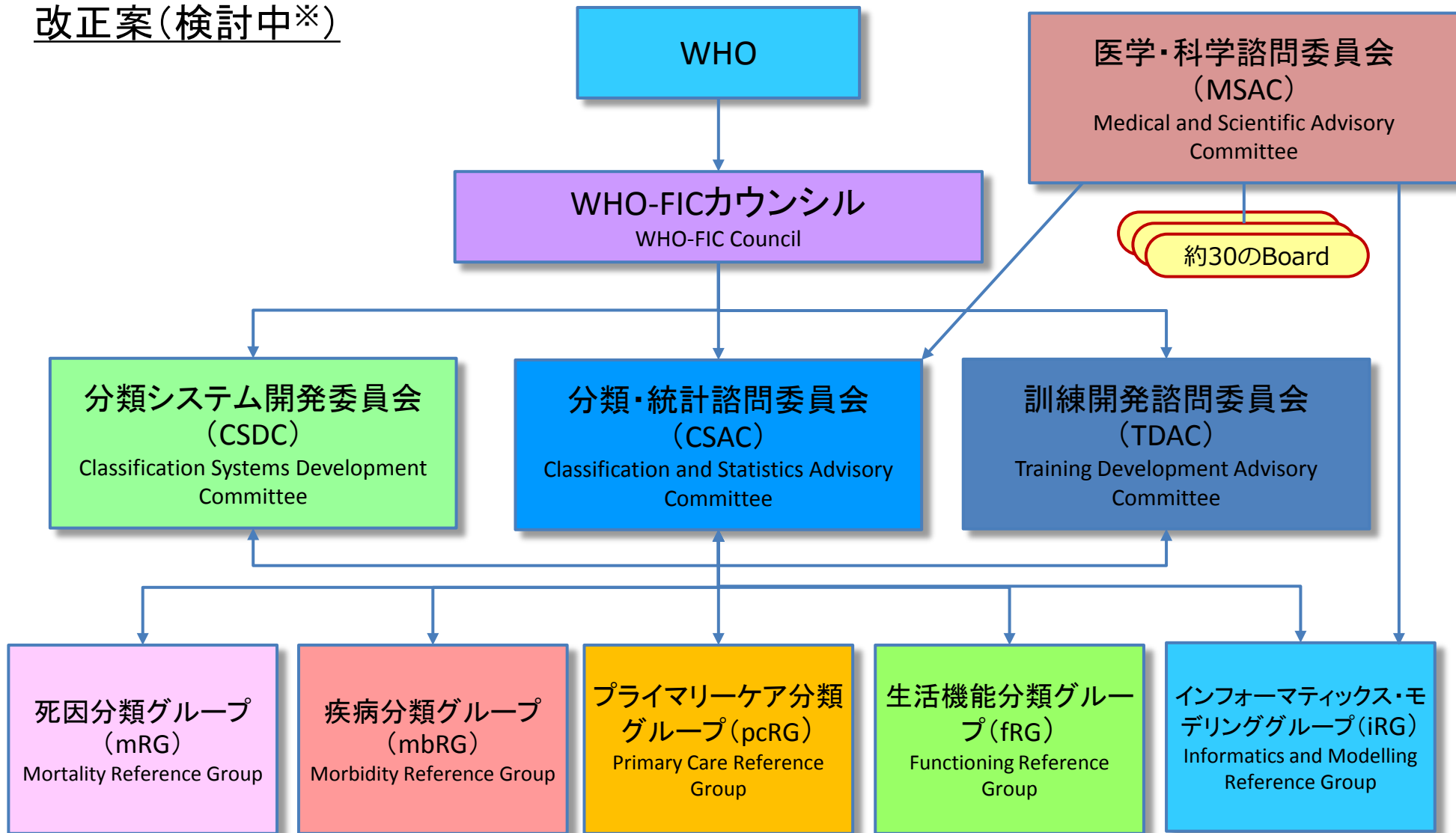


分野横断TAGs

分野別TAGs

ワーキンググループ

# 改正案(検討中※)



※2016年WHO-FIC年次会議資料より作成。検討中の案であり各組織の関係性など今後変更可能性あり。訳も仮訳である。

## ICD-10

- 第1章 感染症及び寄生虫症
- 第2章 新生物
- 第3章 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- 第4章 内分泌, 栄養及び代謝疾患
- 第5章 精神及び行動の障害
- 第6章 神経系の疾患
- 第7章 眼及び付属器の疾患
- 第8章 耳及び乳様突起の疾患
- 第9章 循環器系の疾患
- 第10章 呼吸器系の疾患
- 第11章 消化器系の疾患
- 第12章 皮膚及び皮下組織の疾患
- 第13章 筋骨格系及び結合組織の疾患
- 第14章 腎尿路生殖器系の疾患

## ICD-11

- 第1章 感染症又は寄生虫症
- 第2章 新生物
- 第3章 血液又は造血器の疾患
- 第4章 免疫機構の疾患
- 第5章 内分泌, 栄養又は代謝疾患
- 第6章 精神, 行動又は神経発達の障害
- 第7章 睡眠・覚醒障害
- 第8章 神経系の疾患
- 第9章 視覚系の疾患
- 第10章 耳又は乳様突起の疾患
- 第11章 循環器系の疾患
- 第12章 呼吸器系の疾患
- 第13章 消化器系の疾患
- 第14章 皮膚の疾患
- 第15章 筋骨格系又は結合組織の疾患
- 第16章 腎尿路生殖器系の疾患
- 第17章 性保健健康関連の病態

## ICD-10

- 第15章 妊娠, 分娩及び産じょく<褥>
- 第16章 周産期に発生した病態
- 第17章 先天奇形, 変形及び染色体異常
- 第18章 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- 第19章 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
- 第20章 傷病及び死亡の外因
- 第21章 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- 第22章 特殊目的用コード

## ICD-11

- 第18章 妊娠, 分娩又は産褥
- 第19章 周産期又は新生児期に発生した病態
- 第20章 先天奇形
- 第21章 症状, 徴候又は臨床所見で他に分類されないもの
- 第22章 損傷, 中毒又はその他の外因の影響
- 第23章 傷病又は死亡の外因
- 第24章 健康状態に影響を及ぼす要因又は保健サービスの利用
- 第25章 特殊目的用コード
- 第26章 伝統医学の病態・モジュール1
- 第V章 生活機能パターンに関する補助セクション

コード数

約14,000



約15,000\*

ン

第X章 エクステンションコード

※ICD-11の構成は、永年の歴史的精査に耐えてきた流行病、全身性の疾患、部位別の疾患、発達性の疾患、損傷という基本的な形を維持。第1～4、18～20、22章は、公衆衛生上まとめることが適当な病態として「special groups」の章、その他の章は、「body systems」の章とされ、病態の位置づけは一般的には前者優先とされている。

※1～25章の4, 5, 6桁コード数

出典: ICD-11レファレンス・ガイド(2017/4/2) 4.1  
 Volume 1: Tabular List, Special Tabulation Lists,  
 Qualifiers, and Modifiers

## ICD-11のコード体系

※英字には、O、Iは使用されない。

1桁目 章を表す 英数字	2桁目 英字	3桁目 数字	4桁目 英数字	.	5桁目 英数字	6桁目 英数字	7桁目 英数字
E	D	1	E	.	E	E	(E)

例：脾周囲炎Perisplenitis：**3D2B**

胃潰瘍，詳細不明 Gastric ulcer, unspecified：**ED10.Z**

慢性腎臓病ステージ3 Chronic kidney disease, stage 3：**HE10.23**

### ICD-11の章(章・コード番号早見表)

2017年9月

章番号	1桁目		章番号	1桁目	
1	1	感染症	15	F	筋骨格
2	2	新生物	16	G	泌尿器
3	3	血液	17	H	性保健
4	4	免疫	18	J	妊娠
5	5	内分泌	19	K	周産期
6	6	精神	20	L	発達障害
7	7	睡眠障害	21	M	症状
8	8	神経	22	N	損傷
9	9	眼	23	P	外因
10	A	耳	24	Q	保健サービス
11	B	循環器	25	R	特殊
12	C	呼吸器	26	S	伝統医学™
13	D	消化器	V	V	生活機能
14	E	皮膚	X	X	エクステンション

ユニークID  
(URI)

ステム

ICD-11 Beta Draft (Mortality and Morbidity Statistics)

Last Update: Aug 26

Search [Advanced Search]

Foundation Linearizations Contributions Info More...

Foundation Id : <http://id.who.int/icd/entity/31639081>

Change History

2C35 Malignant neoplasms of bronchus or lung

ICD-10コード

Show all ancestors up to top

ICD-10 : C34

Parent

Malignant neoplasms of middle ear, respiratory or intrathoracic organs

Description

A primary or metastatic malignant neoplasm involving the lung.

カテゴリの説明

All Index Terms

There are no index terms associated with this entity

Post-coordination

Add detail to Malignant neoplasms of bronchus or lung

Laterality (use additional code, if desired)

XK627678743	Bilateral
XK271422288	Left
XK876572005	Right
XK1038788978	Unilateral, unspecified
XK1694310660	Unspecified laterality

ポストコーディネーション候補ボックス

包含用語  
索引用語

<https://icd.who.int/dev11/>



(参考)  
コーディング・ツール  
(ICD-11-MMS)

ICD-11 Coding Tool Help Nov 13

gli Feedback

Guessing the word being typed... Let us know if you couldn't find what you were looking for

**Word list**  
sort: Relatedness/repetition

- glioblastoma
- glioma
- gliomas
- glial
- glioneuronal
- glider
- gliosis
- glioneuroma
- gliopendymal
- gliomatosis
- gliosarcoma
- glisades

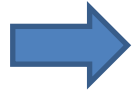
**Destination Entities**  
sort: Matching score

- 9C15.1Y Other specified anomalies of saccadic eye movements
- Glisades** \*
- LA90.Y Other specified structural developmental anomalies of the nose or cavum
- Nasal glioma
- 2A31 Mixed neuronal-glioma tumours
- 2F52.3 Benign neoplasm of duodenum
- paranglioma
- 9B56.Y Other specified macular Dis
- Epiretinal gliosis
- 2F97 Benign neoplasm of endocrin adrenal paranglioma
- 5A83 Adrenomedullary hyperfunct Secreting paranglioma
- 2A1Z Gliomas of brain, unspecified

**Chapter distribution / filter**

- Neoplasms 13
- Developmental anomalies 3

クリックすると該当箇所のブラウザ(MMS)が開きます



ICD-11 Coding Tool Help Nov 13

glioma brain Feedback

Related words... Let us know if you couldn't find what you were looking for

**Word list**  
sort: Relatedness/repetition

- angiocentric
- chordoid

**Destination Entities**  
sort: Matching score

- 2A1Z Gliomas of brain, unspecified
- Gliomas of brain** \*
- 2A1Y Other specified gliomas of brain
- 2A31 Mixed neuronal-glioma tumours
- Anaplastic ganglioglioma of brain

**Chapter distribution / filter**

- Neoplasms 3

<https://icd.who.int/ct11>

## ステムコードの詳細さの水準の検討

Level of detail in the stem codes/pre-coordinated concepts


33

ICD-10	ICD-11
C34 気管支又は肺の悪性新生物	2C35 気管支又は肺の悪性新生物
C34.0 上葉, 気管支又は肺	2C35.1 気管支又は肺の腺癌
C34.1 中葉, 気管支又は肺	2C35.2 気管支又は肺の小細胞癌
C34.2 下葉, 気管支又は肺	2C35.3 気管支又は肺の扁平上皮癌
C34.8 気管支及び肺の境界部病巣	2C35.4 気管支又は肺の大細胞癌
C34.9 気管支又は肺, 部位不明	2C35.5 気管支又は肺のカルチノイドその他の神経内分泌腫瘍
	2C35.6 気管支又は肺の詳細不明の悪性上皮性腫瘍
	2C35.Y その他の明示された気管支又は肺の悪性新生物
	2C35.Z 気管支又は肺の悪性新生物, 詳細不明

# エクステンション・コードの活用可能性

## Potential of post-coordinating extension codes

34

X章の高レベルの分類		主な内容
重症度値	Severity Scale Value	重症度、ステージ
時間軸	Temporality	無症候性～再発性、続発症の別；急性・慢性の別
病因	Aetiology	感染病原菌
局所スケール	Topology Scale Value	左右の別、広汎性・限局性の別 <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">XK876572005 右</span>
解剖学的詳細	Specific Anatomic Detail	部位 <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">XH2003942264 非小細胞癌</span>
組織病理	Histopathology	新生物におけるより詳細な組織的分類 
損傷の状況	Dimensions of injury	火傷や骨折の範囲・種類
意識レベル	Consciousness	グラスゴー・コーマ・スケール（GCS）によるスコア
物質	Substances	各種化学物質、薬剤
診断の状況	Diagnosis code descriptors	受診又は入院の理由、医療資源病態、入院後に発症
背景状況	Capacity or context	周産期死亡での使用を想定
外因の状況	Dimensions of external causes (ICECI)	不慮・故意の別、発生場所

## URI (ユニークID) の活用可能性 Potential of utilizing the URI

35

URI: Uniform Resource Identifier

	指定難病の例	ICD-11	ユニークID
1	球脊髄性筋萎縮症 Bulbo-spinal atrophy	8B11.5	<a href="http://id.who.int/icd/entity/1604214898">http://id.who.int/icd/entity/1604214898</a>
2	筋萎縮性側索硬化症 Amyotrophic lateral sclerosis	8B10.1	
3	脊髄性筋萎縮症 Spinal muscular atrophy	8B11.Z	
4	原発性側索硬化症 Primary lateral sclerosis	8B10.5	
5	進行性核上性麻痺 Progressive supranuclear palsy	8A00.21	
6	パーキンソン病 Parkinson's disease	8A00.1Z	
7	大脳皮質基底核変性症 Corticobasal degeneration	8A00.2Y	<a href="http://id.who.int/icd/entity/348567584">http://id.who.int/icd/entity/348567584</a>
8	ハンチントン病 Huntington's disease	8A01.21	
9	神経有棘赤血球症 Neuroacanthocytosis	3A10.Y	<a href="http://id.who.int/icd/entity/1012724153">http://id.who.int/icd/entity/1012724153</a>
10	シャルコー・マリー・トゥース病 Charcot-Marie-Tooth disease	8B61.Z	

◆疾患概念と分類項目の範囲が異なるケース→ユニークIDを活用しての特定が可能な場合がある  
8B11.5 限局性脊髄性筋萎縮症 (Localised spinal muscular atrophy) ←分類名  
Bulbospinal muscular atrophy (ユニークID : <http://id.who.int/icd/entity/1604214898>)

◆疾患概念と分類項目の範囲が同一のケース→分類コードにより特定可能  
8B10.1 筋萎縮性側索硬化症 (Amyotrophic lateral sclerosis)

# ICD-11改訂スケジュール

2007年 ICD-11改訂作業開始をプレス発表(東京)

↳

2016年 WHO執行理事会・世界保健総会(WHA)へ報告

10月 ICD-11改訂会議(東京)  
加盟国レビュー用 ICD-11(2016年版)を公表(10月3日付)

2017年 加盟国レビュー(6月末意見〆)  
フィールド・テスト用ICD-11 MMSを公表(4月2日付)  
→テスト実施



2018年 ICD-11公表

加盟国実施用ガイドライン・ツール等を準備

2019年～ 加盟国が状況に応じて順次導入

# ICD-11開発にかかる加盟国への意見募集


- 加開発中のICD-11についてWHOより加盟国に対し、1. ICD11-進展、2. ICD適用に当たってのニーズ、3. 優先されるデータ の観点から意見募集。
- 日本医学会、日本歯科医学会、ICD専門委員会、日本WHO国際統計分類協力センター等からの意見をとりとまとめ、6月30日WHOへ提出。

## (主な意見)

- ・複合的な病態のモニタリングを可能とする分類体系、柔軟なコーディング  
ーポストコーディネーション、クラスタリングの法則、使用方法 等  
ー糖尿病、新生物、心不全 等
- ・多様な利用環境における電子的利用、システム連携への支援
- ・分類全体における整合性、分類の改善
- ・個別の専門的な課題  
ー認知症 等  
ー変更点に対する十分な説明
- ・スペシャリティ・リニアライゼーション/ ナショナル・モディフィケーションの定義や方針
- ・多言語による運用への支援  
ー翻訳負担への配慮、翻訳サポート等
- ・分類に対する共通理解の醸成
- ・政策的リーダーシップ、必要な説明資料の作成

# ナショナル・モディフィケーションについて

- カナダ [ICD-10-CA] ~2006年に導入(3年毎に改定)
  - ・ 疾病統計におけるニーズにより作成(死因統計にはICD-10)
  - ・ 2つの公用語(英語、フランス語)への翻訳
  - ・ 州間による取扱の違い
- オーストラリア [ICD-10-AM] 1998年に導入(2年毎に改定)
  - ・ 臨床上の特性を表現するために作成
  - ・ 構造は変更せず、細分(5桁目)を追加
  - ・ コーダー及び臨床家による coding system の維持管理
  - ・ 変更提案、照会を受ける仕組みの構築

- 
- ・ 国内からの意見への対応、WHOへの意見提出
  - ・ 改定プロセス(国際、国内改定との関係、改定サイクル・時期)
  - ・ データベースの改修、維持管理
  - ・ 翻訳作業
  - ・ 標準的なコーディング、教育、照会サービス

人的、財政的な負担

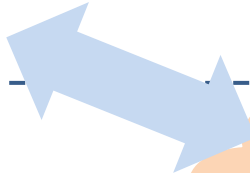
ICD-11では  
多様なコーディングが  
可能

# スペシャリティ・リニアライゼーションについて

## ■ 眼科分野

- ICO ( International Council of Ophthalmology ) Taskforce
- 眼科分野のリニアライゼーションの作成
- upper / lower, right / left, etc.
- 章をまたぐ疾病の取扱(眼科疾患と遺伝性疾患、希少疾患、神経系疾患等との関係)

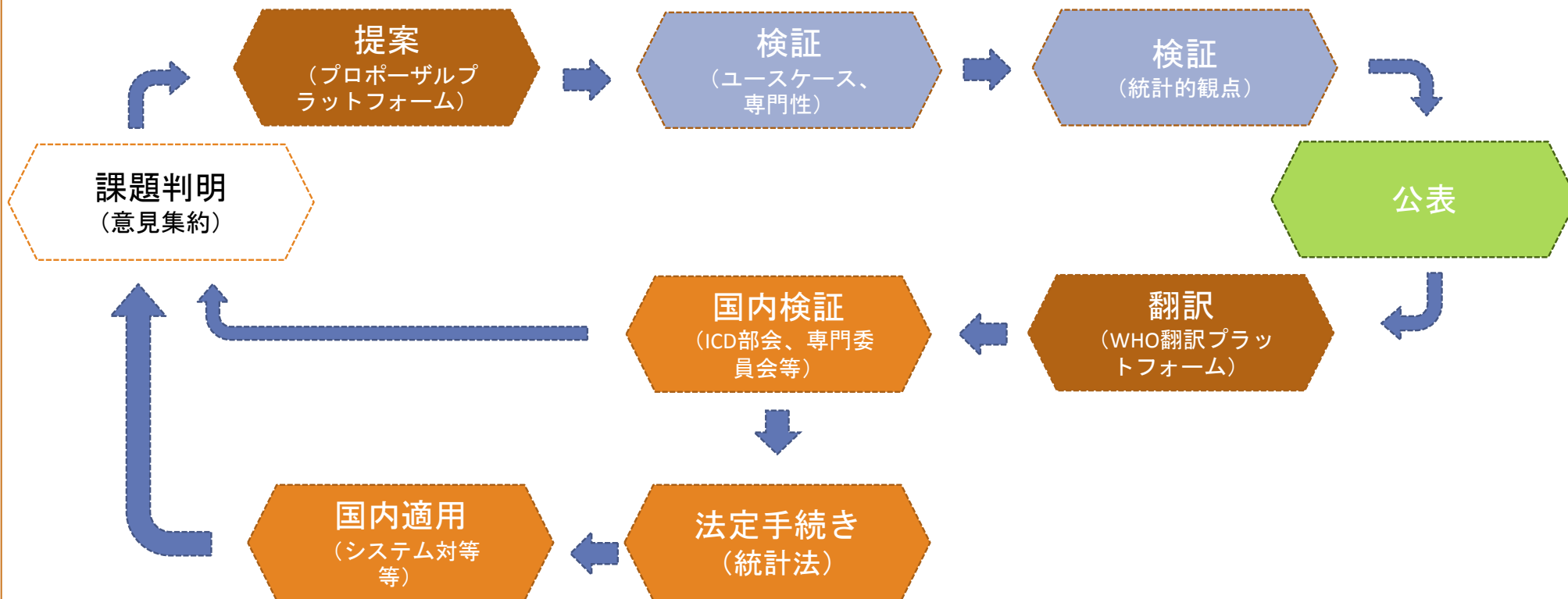
- ポストコーディネーションの充実
- 灰色表示方法の工夫、ユーザーガイダンスの充実
- 継続的なメンテナンス体制の構築



ニーズへの即時対応



# Timeliness



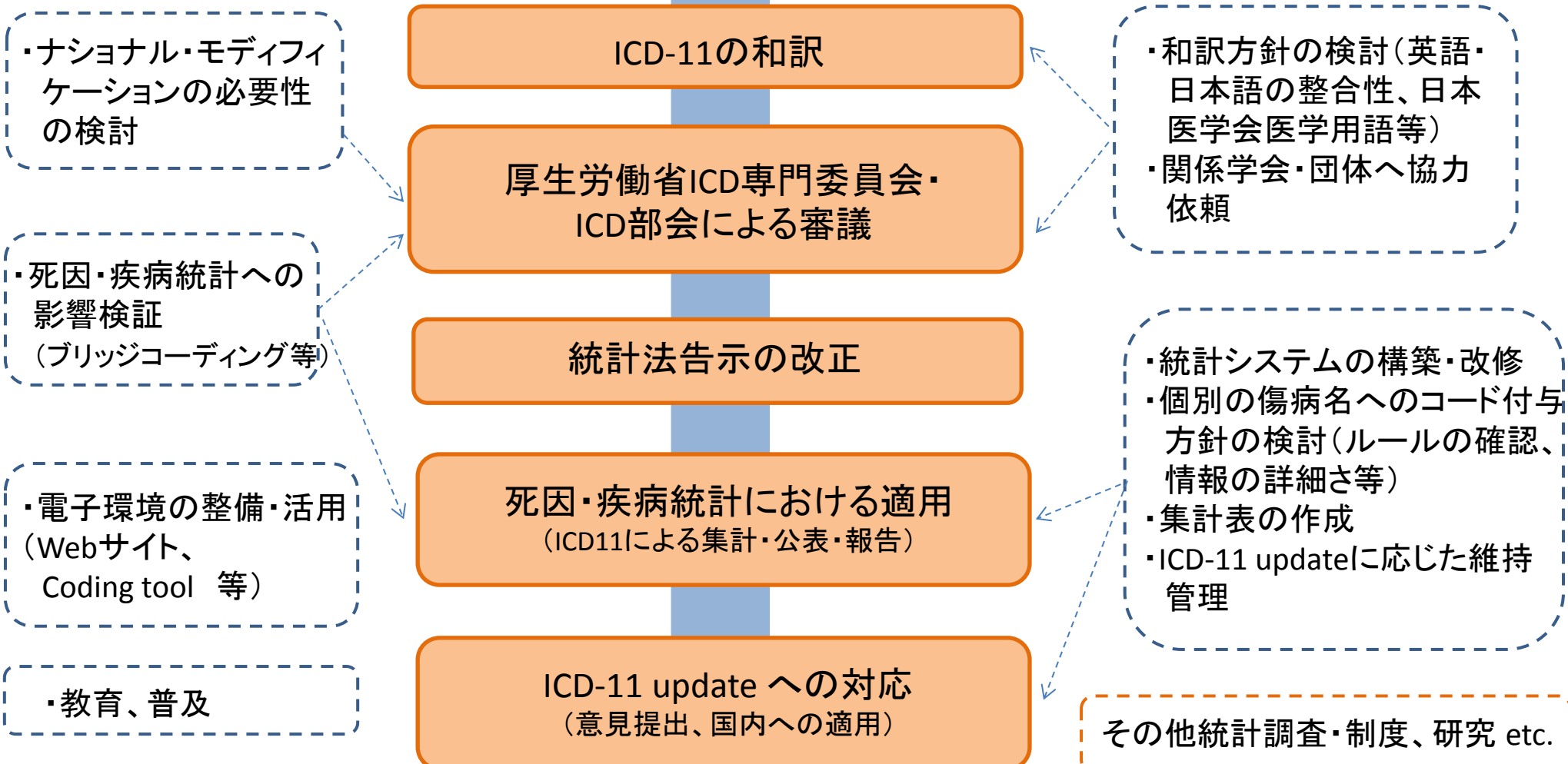
## 検討のポイント

- 国内適用には一定程度の時間が必要。
- 最新の知見の反映と統計の安定性の間のバランスを考慮
- 国内の改正体制の検証と国際的な改正体制との連携

# ICD-11の国内導入に向けて

# 国内導入に向けて (死因・疾病統計におけるイメージ)

## ICD-11の公表 (WHO)



## (参考) 主なOECD 加盟国におけるICD適用年

<OECD 死因統計の報告>

	ICD-9	ICD-10
WHO (改訂年)	1975	1990
オーストラリア	1979 - 1997	1998 - 2004, 2006 -
カナダ	1979 - 1999	2000 -
フランス	1979 - 1999	2000 -
ドイツ	1900 - 1997	1998 -
日本	1979 - 1994	1995 -
韓国	1985 - 1994	1995 -
イギリス	1979 - 1999	2001 -
アメリカ	1979 - 1998	1999 -

OECD Health Statistics, Definitions, Sources and Methods, Causes of mortality より編集  
<http://www.oecd.org/els/health-systems/Table-of-Content-Metadata-OECD-Health-Statistics-2017.pdf>

# Timeliness

	WHO	日本適用期間	(年間)	米国適用期間	(年間)
ICD-1	1900	1899 ~1908	9	1900 ~1909	9
ICD-2	1909	1909 ~1922	13	1910 ~1920	10
ICD-3	1920	1923 ~1932	9	1921 ~1929	8
ICD-4	1929	1933 ~1945	12	1930 ~1938	8
ICD-5	1938	1946 ~1949	3	1939 ~1948	9
ICD-6	1948	1950 ~1957	7	1949 ~1957	8
ICD-7	1955	1958 ~1967	9	1958 ~1967	9
ICD-8	1965	1968 ~1978	10	1968 ~1978	10
ICD-9	1975	1979 ~1994	15	1979 ~1998	19
ICD-10	1990	1995 ~2005	27	1999 present	18
ICD-10 (2003)	2003	2006 ~2015			
ICD-10 (2013)	2013	2016 present	?		
ICD-11	2018	?			

● ICD-10 (初版)  
1990年公表→1994年告示→1995年適用

● ICD-10 (2013年版)  
2013年公表→2015年告示→2016年適用

# ICD-11のメンテナンス

- 意見提出 → 随時
- 影響の少ない意見の検討・反映 → 随時
- 統計に影響を与える可能性のある意見の検討・反映 → 毎年
- 統計に大きな影響を与える可能性のある意見の検討・反映 → 3～5年毎
- 大改訂 → 10年以上

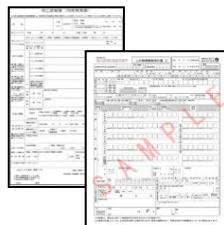
(補足説明)

### 文字情報

胃癌  
胃の悪性新生物  
腫瘍（胃）

心筋梗塞  
急性心筋梗塞  
AMI

死亡診断書



調査票



レセプト



医学用語集  
標準病名集

ルール

ICD

### コード化

C16.9

I21.9

ICD-11

2C02.Z

BA21.3

感染症

新生物

循環器系の疾患

胃癌

肺癌

心筋梗塞

脳卒中

統計分類

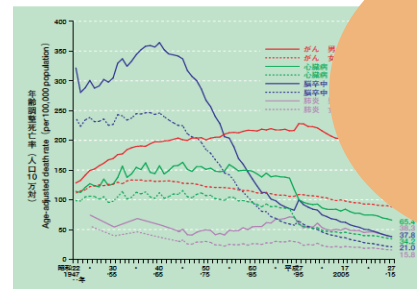
ルール

### 統計

胃の悪性新生物による死亡数 46,679

急性心筋梗塞による死亡数 37,098

主な死因別にみた性別年齢調整死亡率の年次推移  
—昭和22～平成27年—  
Trends in age-adjusted death rates for leading causes by sex  
1947-2015



国際報告  
保険請求  
行政施策  
研究 etc.

---

# ICHI

International Classification of  
Health Interventions



# ICHIとは

## International Classification of Health Interventions

- WHO(世界保健機関)が開発している国際的な医療行為等の分類
- 医療行為等の分類として、7,000以上の項目から構成 (2017年10月現在)
- 「Health Intervention」の定義


A health intervention is an act performed for, with or on behalf of a person or a population whose purpose is to improve, assess, maintain, promote or modify health, functioning or health conditions

- 内科的・外科的医療行為の他、精神保健、看護、公衆衛生等における介入も含む。



# ICHI の開発

## 開発の流れ

2007年	WHO-FICネットワーク会議にて、ICHIの開発を開始
2012年	WHOのプロジェクトとして、ICHIの開発を継続
2016年	ICHI- $\alpha$ 版(2016)の発表
~2017年6月	ICHI- $\alpha$ 版(2016)のレビュー
2017年10月	ICHI- $\beta$ 版(2017)の発表 (WHO-FICメキシコ会議) 
2018年	フィールドテストの実施、レビュー
	プレファイナルバージョンの発表
2019年	WHOによる承認

# ICHIの構造①

ICHI Beta 2017 <https://mitel.dimi.uniud.it/ichi/#>

## 1. Interventions on Body Systems and Functions

身体各部位への介入

- ・治療(手術・放射線療法など)
- ・検査(生検・生理検査・画像検査・心理検査など)
- ・リハビリテーション 等

## 2. Interventions on Activities and Participation Domains

- ・対人関係への介入
- ・社会生活への介入 等

## 3. Interventions on the Environment

- ・自然環境への介入(水質の評価・介入など)
- ・政策評価・立案 等

## 4. Interventions on Health-related Behaviours

- ・アルコール摂取行動への介入
- ・食行動への介入 等

# ICHIの構造②

## ○ 3つの軸 (Target, Action, Means) からコードを構成 (7桁)

Target: entity on which the Action is carried out (3桁)

Action: a deed done by an actor to a Target (2桁)

Means: the processes and methods by which the Action is carried out (2桁)

## ○ Extention codes

側性、数、介入の性質など、詳細な情報が必要な場合に追加

例) Laparoscopic total gastrectomy (腹腔鏡下胃全摘術)

KBF JK AB

Target; KBF - Stomach

Action; JK - Excision, total

Means; AB - Endoscopic/Transparietal endoscopic

Inclusion Terms: Laparoscopic complete gastroduodenectomy;

Laparoscopic oesophagoduodenostomy with complete gastrectomy;

Laparoscopic oesophagogastrectomy, NOS;

Laparoscopic oesophagojejunostomy with complete gastrectomy ....

---

ご静聴ありがとうございました



Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan  
For people, for life, for the future